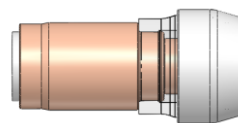


SUS 管-ポリブテンパイプ変換継手接続手順

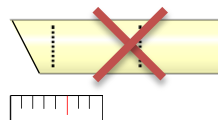
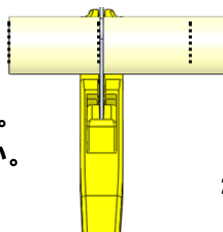
ポリブテンパイプ接続手順・注意事項

これはポリブテンパイプ接続手順となります。
SUS 管接続手順は裏面を参照ください。

SUS 管
接続側



ポリブテンパイプ
接続側



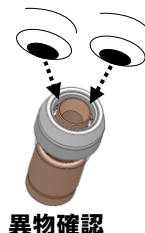
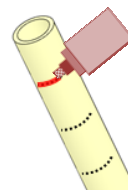
直角にカットしてください
2mm 以上の斜めカットは禁止

① ポリブテンパイプを直角に切断してください。

- ・必ず専用カッター（20J:K200、16J:NK200）を使用してください。
- ・塩ビ用カッターや金属管用パイプカッターは使用しないでください。
- ・パイプ先端の面取り加工やパイプの削り補修はしないでください。

② パイプヘマーキングしてください。

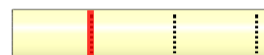
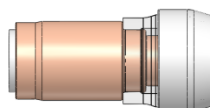
- ・カットマークを油性マーカーで半周以上マーキングしてください。



異物確認

③ まっすぐに奥まで確実に差し込んでください。

- ・差し込み前にパイプや継手に傷、異物付着等ないことを確認してください。
- ・斜め差し込みにならないよう注意ください。



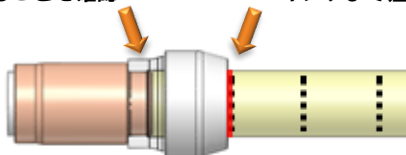
まっすぐに！

④ 差し込み完了の確認をしてください。

- ・マーキング部まで差し込まれていることを確認してください。
- ・パイプ先端が透明カバーから見えるのを確認してください。
- ・パイプを手で引っ張り抜け無きを確認してください。

先端が見えることを確認

マーキングまで差し込まれていることを確認



手で引っ張って抜け無きを確認

引っ張る

接続・管取り外し作業注意事項

- ① 樹脂パイプはブリヂストン製の「ポリブテンパイプ」をご使用ください。
（他社品ポリブテンパイプやその他パイプは絶対に使用しないでください。）
- ② パイプの取り外し作業については現場管理者に確認のうえ、弊社の定める作業要領に従ってください。
- ③ パイプにゴミや汚れ、傷がある場合は事前に拭き取るか交換ください。
- ④ パイプ接続完了後、必ず水圧または気密試験を実施してください。
- ⑤ 継手の根元から曲げての配置やパイプの斜め差し込みはしないでください。
- ⑥ 市販の添加剤・洗剤・ガス漏れ検知液などは使用しないでください。
- ⑦ 継手に工具の衝突や落下等の過度な力が掛からないよう注意ください。
- ⑧ 加圧後のパイプ取り外しは行わないでください。
- ⑨ 凍結の恐れがある場合は必ず保温措置を実施ください。

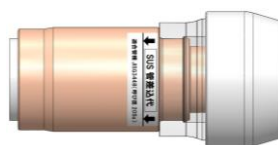
☆ポリブテンパイプ接続作業についてはプッシュマスターカタログ等に記載の「パイプ接続手順」、「施工及び保管上の注意」を厳守ください。

SUS 管-ポリブテンパイプ変換継手接続手順

SUS 管接続手順・注意事項

これは SUS 管接続手順となります。
ポリブテンパイプ接続手順は表面を参照ください。

SUS 管
接続側



ポリブテンパイプ
接続側

① SUS 管を金属管用ローラーパイプカッターで切断してください。

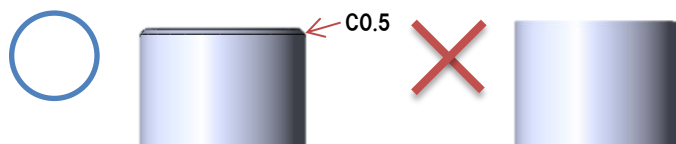
- ・対応管種は JISG3448：一般配管用ステンレス鋼管となります。
- ・バンドソーやその他の工具での切断は行わないでください。



ローラーパイプカッター

② 切断面の面取りをリーマー等で行ってください。

- ・面取りが不十分な場合、O リングを傷付ける恐れがあります。



※面取りは C0.5 を目安に実施してください。

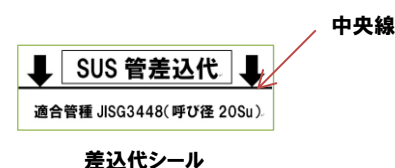
③ パイプへ下記のような差込代のマーキングをしてください。

- ・(株) ベンカン製の EG ジョイントと差込代が異なるため、EG ジョイント専用マーカースは使用できません。ご注意ください。



(1) 差込代シール中央線を目安に SUS 管を合わせる

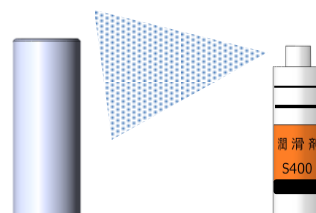
(2) SUS 管にマーキングを行う



差込代シール

④ 差し込み前に必ずシリコンスプレーの塗布をしてください。

- ・シリコンスプレーはブリヂストン製 S400 を使用ください。
- ・他社製潤滑剤は使用しないでください。



⑤ パイプをまっすぐに差し込んでください。

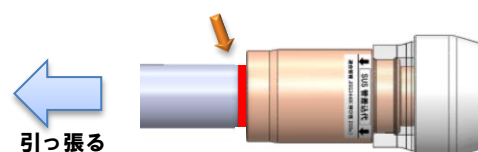
- ・差し込み前にパイプや継手に傷、異物付着等ないことを確認してください。
- ・パイプが O リングに突き当たるまで、ゆっくりとまっすぐに差し込み、そこから更にラインマークの位置まで差し込んでください。
- ・差し込みにくい場合は使用を中止してください。
- ・剥した防塵シールはパイプ等への貼付はせず、ゴミとして処分してください。



⑥ 差し込み完了の確認をしてください。

- ・マーキング位置まで差し込まれていることを確認してください。
- ・SUS 管を手で引っ張り抜け無事を確認してください。
- ・何度も管が着脱可能な構造となっていますが、内部部材への傷付きを考慮し、取外しは 1 度だけとしてください。

マーキングまで差し込まれていることを確認



☆SUS 管接続作業・取り外し作業については(株)ベンカン発行の EG ジョイント「製品カタログ」及び「施工マニュアル」を厳守ください。